

お茶新聞

2010年
24号

発行元
亀山市辺法寺町
811
市川大楽園製茶

電話
0595-85-0321
FAX
0595-85-3005

ガンダム静岡に立つ！

今年も十一月十五日、十六日と手もみ茶競技会に参加のため静岡にやってきました。京都府和東町の旧友、大西君とも久しぶりに話せたりして良かったです。

東静岡駅にガンダム像があると聞いていたので見に行きました。

高さ三十メートルの像はライトアップされていて遠くからでも良く見えました。近づいてみるとさらに大きく、自分が子供の時に見ていたアニメが、現実になっていて、感動しました。後から三重県の手もみ茶の仲間も見に行きたそうです。地域おこしと言いつながらのべらぐい目立つことやらないかと思いましたが、しかし亀山駅前には何の像を建てたらいいのでしょうか？有名な何人かいますが、ゆかりのキャラクターとなると江戸川乱歩が住んでいたというから、怪人二十面相とかでしょうか？



眼が光る！

販売会行っています。

今年は十月末から十一月にかけて毎週末、三重県や東海地方の物産展に出展しました。

たくさんのお客様に試飲でお茶を飲んでもらい、お茶を買っていただきました。一緒に出ている他の業者の人も仲良くなり、はじ丸水産の麦みそにつけたサバ干物とか丸万水産のサンマ丸干し、いとめん本店の黒カレーうどんなど。三重県は美味し国、うましくにとキャンペーンを張っています。あらためてこんなにつまいものがいっぱいあるのだなと思いました。



「三重の逸品会」アピタ四日市店にて

自分流にお茶を楽しんでいます。

家庭での「毎日のお茶」を楽しんでいます。このころ、お茶をいただく機会が多いので、有名な「加賀棒茶」や京都の玉露などの高価なお茶も飲む機会がありました。

玉露は自分が飲むときにも、淹れ方に気を使いますがとにかく、お湯をじっくり冷まして、時間をかけて淹れるようにしています。

電気湯沸かし器は便利ですね。短時間で沸かせるし自動で切れるので便利です。お湯はよく沸かしてカルキを飛ばすのがいいのですが、浄水しているので、まあいいかなと思っています。

急須のふたはいつも探すことになるので、本体にくっついてるといいのと思います。そうなら洗いにくいですよ。しかも、あわて者なのでよく急須を割ってしまいます。

湯のみを使いたいときに、食洗で洗っている途中だったりすると「コップ」に注いでしまったりもありません。そんな時、お茶の水色を楽しむため必ず内側が白いカップに入れていますが、がさつな性格で誠に申し訳ありません。

お茶はゆったりと楽しみたいものです。

仕事納め

プロ野球のように、お茶もオフシーズンを迎えました。製茶工場や乗用茶刈り機などの機械も来シーズンまで使うことはありません。

うちの農場では古くなってきた機械もありますので、今シーズン壊れずに使えたことに感謝です。

小売りもありますので、ゆつりするところはありますが、今年の仕事が終わっていくたびに、肩の荷がおります。

お茶農家の間では、正月を迎えること、新茶までと云っています。気分的に楽なのもわずかな時間です。お茶の仕事は氣候のいい季節はずっと忙しい、天気の良い日は、仕事ができると思ってしまうので、雨の日や、寒い冬のほうが気持ち落ち着きます。うちの畑は仕事が残っていてもへりするには、もうひと頑張りです。



秋番茶の刈り取り作業